

大学での「xChange（衣料交換会）」への大学生の意識
の把握と普及可能性に関する研究

A study on understanding of consciousness of university
students and possibility of spread for "xChange (clothing
exchange Association)" at the university

鎌田早紀

KAMATA, Saki

環境政策・計画学科において学士（環境科学）の学位授与の資格の
一部として滋賀県立大学環境科学部に提出した卒業研究論文

2015年度

承認

指導教員

目 次

第一章	序論	1
1-1	背景	1
1-1-1	本研究の背景	1
1-1-2	xChange の概要	1
1-1-3	滋賀県内で行われている xChange の状況	2
1-1-4	xChange の課題	2
1-2	本研究の目的	2
1-3	本研究の意義	2
1-4	本研究の方法	2
1-4-1	xChange の社会実験	2
1-4-2	xChange 予備アンケート調査	2
1-4-3	アンケート調査	2
1-5	本研究の構成	3
1-6	本研究における用語の定義	3
	<参考文献>	3
第二章	大学生の衣料交換会の参加状況の把握	5
2-1	はじめに	5
2-2	調査目的	5
2-3	調査対象	5
2-4	調査方法	5
2-4-1	学内 xChange の実施期間	5
2-5	予備アンケート集計結果	5
2-5-1	参加者の動向	5
2-5-2	衣料交換会参加経験者の動向	6
2-5-3	参加者と交換行動	7
2-5-4	交換会に出される衣料	7
2-6	社会実験の考察	8
	<参考文献>	8
第三章	衣料交換会に対する学内アンケート調査	9
3-1	はじめに	9
3-2	調査目的	9
3-3	調査方法	9
3-3-1	アンケート配布方法・回収方法	9
3-3-2	分析方法	9
3-3-2-1	集計方法	

3-3-2-2	因子分析	9
3-3-2-3	重回帰分析	9
3-4	アンケートの質問項目	9
3-4-1	属性について	10
3-4-2	衣料交換会のイメージについて	10
3-4-3	不要衣料を持ち寄る立場について	11
3-4-4	不要衣料を持ち帰る立場	12
3-5	アンケートの有効回答について	12
3-5-1	無効回答	12
3-5-2-1	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」に関するクロス集計、重回帰分析で無効とされる回答について	12
3-5-2-2	項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」に関するクロス集計、重回帰分析で無効とされる回答について	12
3-5-2-3	項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持って帰りたいと思う」に関するクロス集計、重回帰分析で無効とされる回答について・ <参考文献>	13
第四章	衣料交換会への大学生の意識の把握	15
4-1	はじめに	15
4-2	調査対象者の属性	15
4-3	衣料交換会のイメージに関する質問項目	15
4-4	不要衣料を持ち寄る立場を仮定した質問項目の集計結果	16
4-4-1	衣料交換会に持ち寄る衣料の購入値段に関する質問項目の集計結果	17
4-4-2	衣料を不要に感じる時に関する質問項目の集計結果	18
4-4-3	エピソードタグに関する質問項目の集計結果	18
4-4-4	衣料交換会の開催頻度に関する質問項目の集計結果	19
4-5	不要衣料を持ち帰る立場を仮定した質問項目の集計結果	20
4-5-1	衣料交換会で持ち帰る衣料のはじめの購入値段に関する質問項目の集計結果	20
4-5-2	衣料を欲しいと感じる時に関する質問項目の集計結果	21
4-5-3	エピソードタグに関する質問項目の集計結果	21
4-5-4	衣料交換会の開催頻度に関する質問項目の集計結果	22
4-6	クロス集計結果	22
4-6-1	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」とアンケートのⅢの回答のクロス集計結果	23
4-6-2	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」とアンケートのⅣの回答のクロス集計結果	26
4-6-3	項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」とアンケー	

	トのⅢの回答のクロス集計結果	33
4-6-4	項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」とアンケートのⅣの回答のクロス集計結果	36
	<参考文献>	39
第五章	大学生の衣料交換会の意識への影響要因と普及可能性	23
5-1	はじめに	23
5-2	学生の衣料交換会の意識に関する構成概念	23
5-2-1	衣料交換会への意識に関する質問項目の天上効果・フロア効果	23
5-2-2	逆転項目の処理	24
5-2-3	因子分析の結果	26
5-2-4	分析に当たり消去した項目	27
5-3	重回帰分析	27
5-3-1	重回帰分析の説明変数と目的変数	27
5-3-2	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」についての重回帰分析	27
5-3-3	項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」についての重回帰分析	28
5-3-4	項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」についての重回帰分析	29
5-3-5	重回帰分析のまとめ	30
5-4	クロス集計	31
5-4-1	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」とアンケートⅢのクロス集計	31
5-4-1-1	項目 16 で 1～3 の回答と持ち寄りたい衣料のクロス集計	31
5-4-1-2	項目 16 で 1～3 の回答と衣料が不要と思うときに関するクロス集計	33
5-4-1-3	項目 16 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計	33
5-4-1-4	項目 16 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計	34
5-4-2	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」とアンケートⅣのクロス集計	34
5-4-2-1	項目 16 で 1～3 の回答と持ち帰りたい衣料のクロス集計	34
5-4-2-2	項目 16 で 1～3 の回答と衣料を欲しいと思うときに関するクロス集計	35
5-4-2-3	項目 16 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計	36
5-4-2-4	項目 16 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計	37
5-4-3	項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」とアンケートⅢのクロス集計	37
5-4-3-1	項目 17 で 1～3 の回答と持ち寄りたい衣料のクロス集計	37
5-4-3-2	項目 16 で 1～3 の回答と衣料を欲しいと思うときに関するクロス集計	38

5-4-3-3	項目 17 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計	39
5-4-3-4	項目 16 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計 ……	40
5-4-4	項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」とアンケートⅣのクロス集計 ……………	40
5-4-4-1	項目 18 で 1～3 の回答と持ち帰りたい衣料のクロス集計 ……………	40
5-4-4-2	項目 18 で 1～3 の回答と衣料を欲しいと思うときに関するクロス集計	41
5-4-4-3	項目 18 で 1～3 の回答とエピソードタグに関する質問項目のクロス集計	42
5-4-4-4	項目 18 で 1～3 の回答と開催頻度に関する質問項目のクロス集計 ……	43
	<参考文献> ……………	43
第六章	結論 ……………	45
6-1	本研究の結論 ……………	45
6-1-1	目的 1「大学生の衣料交換会への参加状況を把握する」の結論 ………	45
6-1-2	目的 2「大学生の衣料交換会に対する意識を把握する」の結論 ………	45
6-1-3	目的 3「今後の衣料交換会の大学生への普及の可能性について調査し、提案する」の結論 ……………	45
6-2	研究を通して考察 ……………	47
6-3	今後の課題 ……………	47
謝辞	……………	48

図 表 目 次

図 2-1	衣料交換会の参加人数	6
図 2-2	参加人数と参加経験者の動向	6
図 2-3	参加者の参加行動	7
図 4-1	調査対象者の属性の集計結果	15
図 4-2	学生全体での衣料交換会のイメージに関する項目の単純集計結果	16
図 4-3	エピソードタグを書くことについて	19
図 4-4	エピソードタグに名前などを書くことについて	19
図 4-5	適当な開催頻度	19
図 4-6	エピソードタグに前所有者のメッセージが書かれてあることについて	22
図 4-7	前所有者がわかることについての賛否	22
図 4-8	適当な開催頻度	22
図 5-1	因子の数と固有値	26
表 2-1	1 回目（2014 年 10 月）の衣料交換会で参加者に持ち寄られた衣料と持ち帰られた衣料	7
表 2-2	2 回目（2015 年 1 月）の衣料交換会で参加者に持ち寄られた衣料と持ち帰られた衣料	7
表 2-3	3 回目（2015 年 4 月）の衣料交換会で参加者に持ち寄られた衣料と持ち帰られた衣料	7
表 3-1	衣料交換会のイメージに関する質問項目と仮定した構成概念	11
表 3-2	選択肢の価格帯の決め方と相当するブランド	12
表 4-1	持ち寄っても良いと思うシャツ（カッターシャツ、ブラウスなど）の購入時の値段	17
表 4-2	持ち寄っても良いと思うコートの購入時の値段	17
表 4-3	持ち寄っても良いと思うパンツ、ズボンの購入時の値段	18
表 4-4	衣料を不要と感じるとき	18
表 4-5	持ち帰りたいと思うシャツ（カッターシャツ、ブラウスなど）の購入時の値段	20
表 4-6	持ち帰りたいと思うコートの購入時の値段	20
表 4-7	持ち帰りたいと思うパンツ、ズボンの購入時の値段	21
表 4-8	衣料を欲しいと思うときについて	21
表 5-1	各項目の平均値・標準偏差・天上効果・フロア効果	24
表 5-2	逆転項目の処理	25
表 5-3	採用された尺度項目	27
表 5-4	項目 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」についての重回帰分析	28
表 5-5	項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」についての重回帰分析	29

表 5-6	項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」についての重回帰分析	30
表 5-7	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うシャツ (カッターシャツ, ブラウスなど) の購入時の値段のクロス集計	32
表 5-8	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うコートの購入時の値段の購入時の値段のクロス集計	32
表 5-9	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち寄っても良いと思うパンツ, ズボンの購入時の値段の購入時の値段のクロス集計	32
表 5-10	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と衣料を不要と感じるときのクロス集計	33
表 5-11	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計	33
表 5-12	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグに名前などを書くことについてのクロス集計	34
表 5-13	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と適切な開催頻度 (不要衣料を持ち寄る側) についてのクロス集計	34
表 5-14	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うシャツ (カッターシャツ, ブラウスなど) の購入時の値段についてのクロス集計	35
表 5-15	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うコートの購入時の値段についてのクロス集計	35
表 5-16	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と持ち帰りたいと思うパンツ, ズボンの購入時の値段についてのクロス集計	35
表 5-17	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と衣料を欲しいと感じるときについてのクロス集計	36
表 5-18	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計	36
表 5-19	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答とエピソードタグに名前などを書くことについてのクロス集計	37
表 5-20	アンケートの要因 16「今後、衣料交換会があれば参加したいと思う」の 1～3 の回答と適切な開催頻度についてのクロス集計	37
表 5-21	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち帰りたいと思う」	

	の1~3の回答と持ち寄りたいと思うシャツ（カッターシャツ、ブラウスなど）の購入時の値段のクロス集計	38
表 5-22	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の1~3の回答と持ち寄りたいと思うコートの購入時の値段についてのクロス集計	38
表 5-23	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の1~3の回答と持ち寄りたいと思うパンツ、ズボンの購入時の値段についてのクロス集計	38
表 5-24	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の1~3の回答と衣料を不要と感じるときについてのクロス集計	39
表 5-25	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の1~3の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計	39
表 5-26	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の1~3の回答とエピソードタグに名前を書くことについてのクロス集計	40
表 5-27	アンケートの項目 17「不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う」の1~3の回答と適当な階差頻度についてのクロス集計	40
表 5-28	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答と持ち帰りたいと思うシャツ（カッターシャツ、ブラウスなど）の購入時の値段についてのクロス集計	41
表 5-29	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答と持ち帰りたいと思うコートの購入時の値段についてのクロス集計	41
表 5-30	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答と持ち帰りたいと思うパンツ、ズボンの購入時の値段についてのクロス集計	41
表 5-31	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答と衣料を欲しいと感じるときについてのクロス集計	42
表 5-32	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計	42
表 5-33	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答とエピソードタグに名前などを書くことについてのクロス集計	43
表 5-34	アンケートの項目 18「他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持ち帰りたいと思う」の1~3の回答と適当な開催頻度についてのクロス集計	43

付 録 目 次

付録1	滋賀県立第学内衣料交換会参加者アンケート(2014年10月)	2
付録2	滋賀県立第学内衣料交換会参加者アンケート(2015年1月)	4
付録3	滋賀県立第学内衣料交換会参加者アンケート(2015年4月)	7
付録4	本アンケート調査票(2015年11月)	11
付録5	社会実験 xChange 開催風景	16
付録6	参考 Web ページ	17

大学での「xChange（衣料交換会）」への大学生の意識の把握と普及可能性に関する研究

金谷研究室 1212010 鎌田早紀

1. 背景・論点

従来の衣類の代表的なリサイクル用途は反毛とウエスであった。しかし、反毛を使う繊維製品の生産がコストの安い中国などに移ってしまったため需要が減ってしまった。一方、ウエスも工場の海外移転やゼロエミッションの推奨のため使い捨てのウエスは敬遠されるようになった。リユースに関しては、日本で回収される衣類の多くは東南アジアに輸出をされていた。しかし、東南アジアの急速な発展により、リユースの需要が減少したり。

繊維リサイクル懇談会報告書では、国内における繊維製品のリサイクルが難しい状況を素材の複合度の高さ、製品の多様性と高いファッション性(流行に左右される)、広げられない再生用途、複雑な生産流通構造などとしている²⁾。

現在の衣料はリサイクルをしにくくなっており、加えて海外からの古着の需要も減少している。そのため、日本国内で繊維製品をできるだけ長く衣料として使うことが良いと考える。

xChange は参加者がただ増えればよいのではなく、相互に交換がなされ、リピートされていることが望ましい。さらに環境負荷を減らすためには衣料を遠方に送付するのではなく、身近な場所で交換される方がより環境への負荷を減らすことができ望ましいと考える。本研究では特定多数の中で xChange が学生にも受け入れられ普及するののかどうかについて論じる。

2. 研究の目的・意義

本研究の目的は、以下に示す3点である。

大学生の衣料交換会への参加状況を把握することを目的1、大学生の衣料の交換会に対する意識を把握することを目的2、目的1、目的2より得た結果をもとに、今後の衣料交換会の大学生への普及の可能性について調査し、提案することを目的3とする。

本研究の意義は、衣料交換会の利用者が増加することで、使わなくなった衣料を他人に譲り、無駄に処分される量を減らせることである。

3. 研究方法

研究の目的を次のような方法で達成する。

(1) xChange の社会実験

特定多数の人が集まる大学内（滋賀県立大学）で xChange を3回(2014年10月、2015年1月、4月)行い、大学生の衣料の交換会の参加状況について把

握する。

(2) xChange 予備アンケート調査

(1)で参加者にアンケート調査を行う。アンケートでは、①参加者の属性、②参加回数、③交換した服、④交換しなかった理由、⑤半年以内に買った服、⑥参加経験後の服の購買行動の変化などについて質問する。取得したデータを単純集計によって xChange の参加状況を把握する。

(3) アンケート調査

大学内で学生を対象とするアンケート調査を行う。アンケートの質問項目は、衣料交換会参加に影響があるとあらかじめ想定した5つの要因「環境的要因」、「経済的要因」、「ファッション的要因」、「衛生的要因」、「社会的要因」、「利便的要因」と、衣料交換会に参加することを仮定した質問項目を作成した。それらについて表1(要因1~15)、表2(項目16~28)に示す。また、表の項目とは別に性別、学部、居住形態などの属性に関する質問項目を作成した。

それぞれの質問項目の回答から、大学生の衣料交換会への意識や、大学生への衣料交換会の普及可能性について分析するため、属性や環境への意識と慰労交換会への意識との関係性や、交換会の対象となる衣料について調査する。

表1 本アンケート調査 調査項目（一部抜粋）

要因	質問内容	回答方式
1	長い期間、衣料を衣料として着ることは良いと考える	択一選択式
2	使用していない衣料があることは環境に悪いと思う	択一選択式
3	交換会ではほぼ無料で衣料がもらえるため経済的に助かる	択一選択式
4	交換会に衣料を持っていくことは経済的にもっていないと思う	択一選択式
5	自分が処分したいと思う衣料が他人に喜ばれるのか自信がない	択一選択式
6	掘り出し物を見つけられると思う	択一選択式
7	他人の着た服を着ることに抵抗を感じる	択一選択式
8	交換会に出されている衣料は見た目が汚れていたりよれていたりしていると思う	択一選択式
9	衣料を持ち帰った場合、衣料の前の持ち主に会うと気まずいと思う	択一選択式
10	エピソードタグが付いているので大切にしようと思う	択一選択式
11	衣料交換会に出される服に、エピソードタグを付けることは、交換会の普及につながると思う	択一選択式
12	気軽に衣料を処分し持ち帰れるから良いと思う	択一選択式
13	開催日が決まっているので不便であると思う	択一選択式
14	長い期間、衣料を衣料として着ることは環境に良いと考える	択一選択式
15	ファッションに興味がある	択一選択式

表2 本アンケート調査 調査項目（一部抜粋）

項目	質問内容	回答方式
16	今後、衣料交換会があれば参加したいと思う	択一選択式
17	不要になった衣料を交換会に持ち寄りたいと思う	択一選択式
18	他の人が不要になった衣料を交換会に参加して持って帰りたいと思う	択一選択式
19	衣料交換会に持ち寄りたい、持ち帰りたいと考える衣料の購入時の値段について（シャツ）	択一選択式
20	衣料交換会に持ち寄りたい、持ち帰りたいと考える衣料の購入時の値段について（コート）	択一選択式
21	衣料交換会に持ち寄りたい、持ち帰りたいと考える衣料の購入時の値段について（パンツ）	択一選択式
22	どのような時に衣料を不要と感じるのか	複数選択式
23	エピソードタグにメッセージを書くことについて	択一選択式
24	エピソードタグに名前を書くことについて	択一選択式
25	衣料が欲しいと思うときについて	複数選択式
26	エピソードタグにメッセージが書かれていることについて	択一選択式
27	衣料の前の所有者がわかる可能性があることについて	択一選択式
28	参加しやすい開催頻度について	択一選択式

4. 結果及び考察

(1) 大学生の衣料交換会への参加状況の把握(目的1)

結果を図1に示す。衣料交換会の開催場所に参加はするが、実際に交換行動をする学生は少ない。

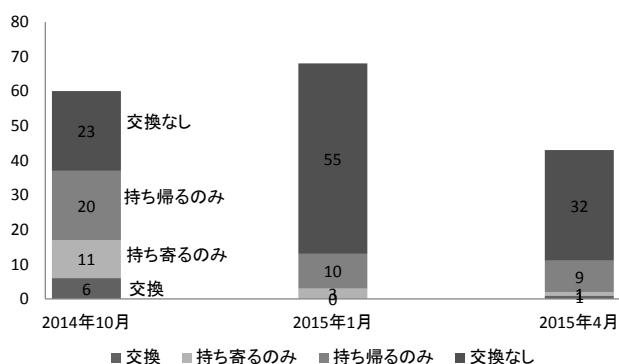


図1 参加者の参加行動 (人)

(2) 大学生の衣料交換会に対する意識を把握(目的2)

衣料交換会のイメージに関する質問項目について学生全体で単純集計を行った後に学生がどのような項目を肯定または否定しているのかを確認した。その結果を図2に示す。

要因1「長い期間、衣料を衣料として着ることは良いと考える」や要因14「長い期間、衣料を衣料として着ることは環境に良いと考える」のように長い期間衣料として使用することを環境に良いと考える回答者が多い一方で、要因3「使用していない衣料があることは環境に悪いと思う」に「1、当てはまる」と回答した人は少なくなった。要因6「掘り出し物を見つけられると思う」などファッション面や要因12「気軽に衣料を処分し持ち帰れるから良いと思う」

で衣料交換会への積極的な回答が見られた。

一方で、要因7「他人の着た服を着ることに抵抗を感じる」や要因8「交換会に出されている衣料は見た目が汚れていたりよれていたりしていそうだと思う」などの衛生面に関することに対しては衣料交換会への消極的な回答している回答者が多い。

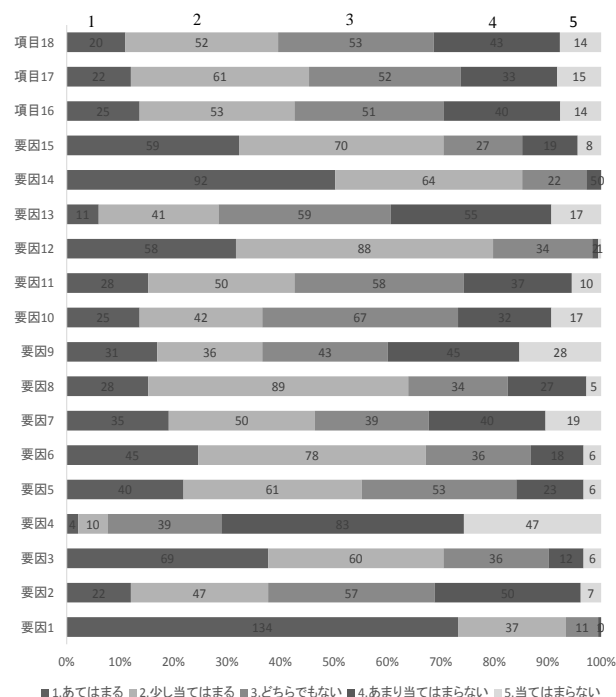


図2 参加者の参加行動 (人) (n=183)

(3) 衣料交換会の大学生への普及可能性 (目的3)

1) 因子分析の結果

因子分析の結果、4つの因子が求められた。因子1は【社会性因子】、因子2は【衛生性因子】、因子3は【開催日程因子】、因子4は【衣料入手手段因子】と因子名をつけた。これらの4つの因子と、性別、居住形態、所属学部を説明変数として、以下の重回帰分析を行う。

2) 項目16への関連要因の因子分析と重回帰分析

項目16は、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子1 (社会性因子)」「因子2 (衛生性因子)」「因子3 (開催日程因子)」「因子4 (衣料入手手段因子)」「居住形態」の5つが挙げられた。

因子1の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子3の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子4の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子2の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「性別」「所属学部」が挙げられた。

3) 項目 17 への関連要因の因子分析と重回帰分析

項目 17 は、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」「因子 4 (衣料入手手段因子)」の 4 つが挙げられた。また、「5%有意」の相関があるものは「居住形態」の 1 つが挙げられた。

因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。居住形態が下宿生である方が参加意欲は高まる。また、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「性別」「所属学部」が挙げられた。

4) 項目 18 への関連要因の因子分析と重回帰分析

項目 18 は、「1%有意」の強い相関があるもので、「因子 2 (衛生性因子)」「因子 3 (開催日程因子)」の 2 つが挙げられた。また「5%有意」の相関があるもので、「因子 1 (社会性因子)」「因子 4 (衣料処分入手因子)」が挙げられた。

因子 1 の社会性が高いほど参加意欲は高まる。因子 3 の開催日への意識が高いほど参加意欲が高まる。因子 4 の衣料交換会に衣料の入手手段を求めている方が参加意欲は高まる。また、因子 2 の衛生性が高いほど参加意欲は縮小する。

一方、相関が認められなかった項目は、「居住形態」「性別」「所属学部」が挙げられた。

5) 交換会で交換される衣料に関する結果、考察

衣料交換会に持ち寄られる衣料に関する質問項目では、例として取り上げた 3 種類の衣料の全てが 2 つ目に低価格の選択肢までに 95% 近く集中する結果となった (表 3, 表 4, 表 5)。また、衣料交換会で持ち帰られる衣料は、例として取り上げた 3 種類の衣料の全てが選択回答のうち 2 つ目までに低価格帯の選択肢までに 90% が集中する結果となった。

この結果から、持ち寄られると仮定できる衣料と、持ち帰られると考えられる衣料の価格帯は一致するため、比較的低価格帯の衣料が持ち寄られると衣料交換会で交換行動を増加すると考えられる。

表 3 アンケートの項目 16 の 1~3 の回答と持ち寄りたいと思うシャツの値段のクロス集計 (人) (n=120)

項目 16 の回答	~3000円	3001~7000円	7001~17000円	17001円~
1.当てはまる	12	11	0	0
2.少し当てはまる	31	19	0	0
3.どちらでもない	33	13	0	1
合計	76	43	0	1
比率	63.33%	35.83%	0.00%	0.83%

表 4 アンケートの項目 16 の 1~3 の回答と持ち寄りたいと思うコート の値段のクロス集計 (人) (n=120)

項目 16 の回答	~10000円	10001~20000円	20001~40000円	40001円~
1.当てはまる	13	9	1	1
2.少し当てはまる	28	21	1	0
3.どちらでもない	29	16	0	1
合計	70	46	2	2
比率	58.33%	38.33%	1.67%	1.67%

表 5 アンケートの要因 16 の 1~3 の回答と持ち寄っても良いと思うパンツ,ズボンの購入時の値段のクロス集計 (人) (n=120)

項目 16 の回答	~5000円	5001~10000円	10001~25000円	25001円~
1.当てはまる	14	9	0	0
2.少し当てはまる	33	16	1	0
3.どちらでもない	32	14	0	1
合計	79	39	1	1
比率	65.83%	32.50%	0.83%	0.83%

6) 衣料交換会で交換される衣料に付けられるエピソードタグに関する結果、考察

アンケートの集計結果を表 6, 表 7, 表 8, 表 9 に示す。xChange で交換される衣料に付けられるエピソードタグに関する質問項目は、持ち帰る側の分析では「大切にする」40.00%, 「重たく感じる」22.50%, 「何も感じない」37.50% という比率でメッセージが書かれてあることに積極的な回答が多かった。しかし、持ち寄る側では「良いと思う」35.16%, 「書くことが面倒」10.16%, 「書く内容を考えることが面倒」24.22%, 「書く内容がない」30.47% という結果になったが、60% 以上の回答者がメッセージを書くことについて消極的であると考えられる。

衣料交換会のイメージに関する質問では、要因 10 「エピソードタグが付いているので大切にしようと思う」、要因 11 「エピソードタグを付けることは衣料交換会の普及につながると思う」など、タグに関する質問で、タグに対して比較的に良いイメージの回答が多かったが、実際に自ら衣料交換会に参加することを想定すると、「書くことが面倒」、「書く内容がない」であったり、交換会に出されている衣料にメッセージが書かれていることに「重たく感じる」など消極的な回答になった。

また、名前を書くことに関しても、両者ともに消極的な回答が多い。これらの結果より大学生を対象とする衣料交換会においては、メッセージや名前が書かれたタグを用いないほうが、参加者が気軽に衣料交換会に参加することができ、参加者が増加すると考えられる。

表6 アンケートの項目16の1~3の回答とエピソードタグを書くことについてのクロス集計 (人) (n=120)

項目16の回答	良い	書く面倒	考える面倒	内容無し
1.当てはまる	12	3	3	5
2.少し当てはまる	20	4	17	9
3.どちらでもない	12	5	10	20
合計	44	12	30	34
比率	36.67%	10.00%	25.00%	28.33%

表7 アンケートの項目16の1~3の回答とエピソードタグが付いていることについてのクロス集計 (人) (n=120)

項目16の回答	大切に	重たい	感じない
1.当てはまる	11	4	8
2.少し当てはまる	21	8	21
3.どちらでもない	14	13	20
合計	46	25	49
比率	38.33%	20.83%	40.83%

表8 アンケートの要因16の1~3の回答とエピソードタグに名前などを書くことについてのクロス集計 (人) (n=120)

項目16の回答	賛成	反対
1.当てはまる	10	13
2.少し当てはまる	12	38
3.どちらでもない	14	33
合計	36	84
比率	30.00%	70.00%

表9 アンケートの要因16の1~3の回答とエピソードタグに名前を書かれていることについてのクロス集計 (人) (n=120)

項目16の回答	賛成	反対
1.当てはまる	8	15
2.少し当てはまる	25	25
3.どちらでもない	19	28
合計	52	68
比率	43.33%	56.67%

6) 衣料交換会の開催頻度に関する結果、考察

衣料を持ち寄る側を想定した場合の適当な開催頻度の集計結果を表10に示す。衣料交換会に衣料を持ち寄る側、持ち帰る側ともに、最も多い回答は「3ヶ月に1回」で、次に「半年に1回」、「年に1回」、「月に1回」、「2カ月に1回」という順となった。

この結果、ともに「3ヶ月に1回」から「半年に1回」が適当な開催頻度であると考えられる。

表10 アンケートの要因16の1~3の回答と適当な開催頻度(不要衣料を持ち寄る側)についてのクロス集計(人) (n=120)

項目16の回答	年1回	半年1回	3ヶ月1回	2カ月1回	月1
1.当てはまる	4	5	9	1	4
2.少し当てはまる	6	17	22	3	2
3.どちらでもない	8	16	22	0	1
合計	18	38	53	4	7
比率	15.00%	31.67%	44.17%	3.33%	5.83%

5. 結論

(1) 大学生の衣料交換会への参加状況の把握

交換行動をしない参加者が多数いた。衣料を無料でもらえることに抵抗がある人も多いと考えられる。

(2) 大学生の衣料交換会への意識

衣料として長期間扱うことが環境配慮につながると思う回答者は多く、衣料交換会へのファッション性の期待や気軽に衣料を処分し入手できるといった利便性への期待をもつ回答者が多いことから、衣料交換会が大学生にも受け入れられると考えられる。

(3) 衣料交換会の大学生への普及可能性

衣料交換会を人とのつながる場と捉えるより、衣料交換会を不要衣料の処分や衣料の入手の手段と考える人が来ることがわかる。居住形態に関しては、下宿生である方が気軽に来られる。重回帰分析の結果の場合はタグに関して積極的な考えも持つ人が衣料交換会に来やすい。また、4(3)3)の不要衣料を持ち寄る側の重回帰分析では、女性の方が不要衣料を持ち寄りやすいことがわかる。

しかし、4(2)の結果や4(3)の2)~4)の結果から、衣料交換会に対して、衛生面で不安と考える人が多いと考えられるため、不要衣料を選択してから持ち寄ることを徹底するための仕組みが必要である。

大学生を対象とした衣料交換会で交換される衣料は、持ち寄る側も持ち帰る側も、シャツ(カッターシャツ・ブラウスなど)では7000円以下の衣料、コートでは20000円以下の衣料、パンツ・デニムでは10000円以下の衣料であり、比較的に低価格の衣料が好まれる。クロス集計の結果では元の所有者のメッセージや名前を書いたタグに関しては、持ち寄る側の考えとして消極的な回答が多くなったので、そういったものを付けないほうが、大学生の場合は気軽に参加することができる。また、開催頻度は、3ヶ月に1回が適切である。なお団体との連携について今後、調査を行う必要がある。

6. 参考文献

- 1) 山川肇：衣料のリユース・リサイクル 進まない理由と最近の動き、循環とくらし2(2),pp.78-79 (2011)
- 2) 高月紘：繊維製品の知られざる環境負荷、循環とくらし2(1),pp.18-21 (2011)
- 3) 経済産業省：民間活力を生かしたリサイクル推進を狙う、地球環境34(2),pp.38-39 (2003)
- 4) 堤佑加：滋賀県立大学生のマイバック使用動機とマイバック持参率向上に向けた方策の提案、滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科2012年度卒業論文(2013)
- 5) 服としあわせのシェア:xChange<<http://letsxchange.jp/>>2016-1-15

